

『学校評価アンケートの結果について』

今回は、令和2年度前期の学校教育の振り返りの結果についてお知らせします。

評価項目	【4点満点での評価】	保護者 (58人)	運営委員 (8人)	教職員 (10人)	全体 (76人)
1	子どもたちは、自分の考えや気持ちをきちんと話すことができる	3.0↑	3.4↑	2.8↑	3.3↓
2	子どもたちは、人の話をきちんと聞くことができる	2.9↑	3.4↑	2.9↓	3.0
3	子どもたちは、宿題や家庭学習をがんばっている	3.2↑	3.5	3.3↑	3.2
4	学校は、子どもたちが進んで家庭学習に取り組むための指導や支援をしている	3.2↓	3.8↑	3.2↑	3.3↑
5	子どもたちは、家でよく本を読んでいる	2.4↓	2.7	2.2↓	2.4↓
6	学校は、子どもたちの読書環境づくりに努めている	3.4↑	3.6↑	3.3↑	3.4↑
7	学校は、子どもたち一人ひとりの実態に応じた「わかる授業」づくりをしている	3.4↑	3.7↑	3.6↑	3.5↑
8	子どもたちは、友だちと仲良くしている	3.5	3.4	3.4↑	3.5↑
9	子どもたちは、進んで気持ちのよいあいさつができる	3.1↑	3.4↑	3.5↑	3.2↓
10	子どもたちは、言葉づかいに気をつけている	2.8↑	3.0↑	2.9↑	2.9↑
11	学校は、優しい気持ちを伝え合う指導をしている	3.4↑	3.4	3.6↑	3.4↑
12	子どもたちは、苦手なことにも粘り強く取り組むことができる	2.9↑	3.1↑	3.0↑	2.9
13	学校は、体力づくりの取組を行い、子どもたちの運動習慣づくりに努めている	3.5	3.8↑	3.5	3.5↓
14	子どもたちは、放課後や休日に元気よく遊んだり運動したりしている	3.4↑	3.9↑	3.5↓	3.5
15	子どもたちは、早寝・早起き・朝ごはんなどの生活習慣ができています	3.3↑	3.7↑	3.1↑	3.3↑
16	学校は、学校生活の様々な場面で子どもたちの生活習慣を見直し、基本的な生活習慣の確立に努めている	3.3	3.7↑	3.3↑	3.4↑
17	学校は、子どもたちに二島地域のよさを学ばせている	3.6↓	3.9↑	3.7	3.7
18	学校は、二島中学校や二島幼稚園との交流活動に努めている	3.5↓	3.8	2.9↓	3.4↓
19	学校は、表現する力の育成に向けた授業づくりをしている	3.5↑	3.5	3.3↑	3.5↑
20	学校では、子どもたちが生き生きと勉強したり活動したりしている様子が見られる	3.6↑	3.9↑	3.5↑	3.6↑
21	学校は子どものことについての相談に適切に応じてくれる	3.6↑	3.6↑	3.6↑	3.6↑
22	学校は子どものよさや気持ちをよく理解してくれる	3.6↑	3.3↓	3.6↑	3.5↑
23	学校は、いじめ防止に向けて積極的に取り組んでいる	3.5↑	3.3↓	3.5	3.5↑
24	学校はKYTなどの安全教育を通し、子どもたちが「自分の命は自分で守る」意識を育てる取組をしている。	3.5↑	3.4↓	3.5↑	3.5↑
25	学校は安心・安全な学校づくりのための環境整備や実的な避難訓練の実施に努めている。	3.6↑	3.6↓	3.6↑	3.6↑
26	学校はホームページや学校だより・学級通信等で積極的に情報発信をしている	3.8	3.8↑	3.7↓	3.8

※前年度末と比較して数値が上がったものに↑、下がったものに↓を付けています。

設問1～7について…**知** 「かしこく」 ～自ら学び、進んで考え行動する子

- 児童の学力の実態を分析し、基礎学力の定着とともに課題になっているのは、小規模校ゆえの課題でもあるコミュニケーション能力の育成です。そこで、今年度は校内研修のテーマを「主体的に考え、伝え合い、響き合う子どもの育成」とし、特に「伝え合う学習活動の工夫」に重点を置いた授業づくりをしてきました。
- 学力調査等の結果を全教職員で分析し、本校児童の課題を明確にしなが、解決に向けた授業改善や研修に取り組みました。児童の何をどう育てるのかという視点を明確にした授業改善に力を入れ、今年度も授業実践を大切にしたい一人一研究授業を行い、ワークショップ型の研究協議や授業を多面的に見取るためのユニット型研修も取り入れました。また、新学習指導要領による「指導と評価の一体化」については外国語教育の研修を進めながら教職員が学び、授業に生かすようにしました。
- 少ない人数のクラスの中では、様々な相手に対して自分の思いを伝える機会が少なく、相手が受け止めてくれることを前提に話すため、自分の考えをより分かりやすく伝えるために工夫する機会が少なくなります。また、相手の思いや考えを正しくと受け止めるためにきちんと聞くことにも課題があります。「自分の考えや気持ちを誰にも分かるようにきちんと話すこと」「相手の考えをきちんと受け止め、自分の考えと比べながらより深い考えにつなげること」をしっかりと鍛える場をもちたいと思います。
- 家庭学習については、放課後や休日の過ごし方に個々の実態があり、なかなか同じ内容・同じ量をこなすことが難しいかもしれません。しかしながら自主的に学ぶ習慣づくりや、教室で学んだことをさらに深く学んだり、生活に結びつけたりする中で、確かな学びにするためには家庭での学習が必要です。児童の実態に応じた家庭学習の定着に向け、学校でも引き続き支援をしていきたいと思ひます。ご協力をお願いいたします。
- 昨年度始めた「読書活性化プロジェクト」では、子どもたちが本に親しむ場づくりのための様々な工夫をしています。図書委員会の子どもの企画によるイベントを通して本に親しむ子も増えました。子どもたちは「お話ポック」の方々による読み聞かせを楽しみにしており、これを機会に図書室に通う子も増えています。
- 家庭読書は毎回のアンケートで最も低い数値になっており、本校での大きな課題として残っています。その時間をどう確保するか、「2の付く日」の過ごし方と共に保護者の皆様と一緒に考えていきたいと思ひます。
- 「わかる授業づくり」に向けて、板書型とICT活用とのそれぞれの良さを上手に生かした授業づくりに取り組んでいます。教職員のICT活用のスキルもかなり向上してきています。ICTを活用する授業は、子どもたちが主体的に学び、学んだことがわかることにもつながっています。

設問8～11について…**徳** 「やさしく」 ～礼儀正しく、思いやりのある子

- 課題となっているのは、言葉遣いや礼儀、挨拶など、二島小児童のよさとしてアピールできることが学校外ではなかなか実践されていない現状があることです。学校は社会の1つの縮図であり、子どもたちが生活する社会で生きて働く力を身に付けさせる場です。ここで学んだことの意味を改めて伝えていくと共に、子どもたちが自分の言動を見つめ直す力を高める教育に努めたいと思ひます。
- あわせて、学校と家庭や地域との連携の在り方について保護者や地域の方々と共に考え、何らかの具体的なアクションを起こしていく必要があると考えています。
- 異学年交流には、たてわり班での様々な活動の充実に努め、様々な場面で相手を思いやる機会にもなっています。

設問12～16について…**体** 「やさしく」

～心と体を鍛え、夢や希望の実現に向かってがんばる子

- 今年度は、鉄棒検定やふたじまスポーツパラダイス、持久走大会、なわとび大会等を実施し、新型コロナウイルスへの対応を考えた内容を工夫しながら、できるだけ子どもたちが運動に親しめるよう努めてきました。
- また、スポ会やスポパラなど、遊びを通して体力づくりをする取組により、子どもたちが日常的に運動に親しむ環境づくりにも引き続き努めてきました。こうした中で子どもたちの外遊びの幅をさらに広げることや、個々の体力の伸びとの関連性について調査しながら、活動のさらなる充実を図っていきたいと思います。
- 栄養教諭や養護教諭を中心に、食や保健に関する指導を学年に応じて実施しました。食が自分の身体をつくる、ということへの意識を高めるため、給食メニューを工夫したり、給食時間に栄養教諭が巡回指導しながらバランスよく食事をする大切さを指導したりすると共に、家庭科学習支援や、掲示物、また学校司書との連携による「ブックランチ」などによって子どもたちの食に対する意識向上に努めてきました。
- 子どもたちの生活習慣については、ほぼ良い結果となっていますが、まだまだ気になる実態があるようです。特に子どもたちとインターネットとの関わり方については、改めて考える実情がありそうです。
- 今年度より、学校教育には「キャリアパスポート」が導入されました。子どもたちが自分たちが学んだことや自分の成長を振り返ったり、今後の学びや成長を見通したりしながら、自身の変容や成長を自己評価するためのポートフォリオです。本校でもこれを効果的に活用することにより、子どもたちが主体的に自己実現をしようとする態度を育てたいと思います。

設問17～19について…**コミュニケーション** 「つながる」

～人や社会と積極的に関わり、ふるさとを愛する子

- 今年度も各学年において地域をフィールドにした様々な教育活動に取り組んできました。地域の特色に気付くための学習や地域の歴史を調べる学習、地域の特色ある自然を調査する学習、地域の方々や団体等と連携した栽培活動など、地域や地域の人と関わる場の充実にも努めてきました。また、地域マップづくりや地域のパンフレットづくり、干潟プロジェクトにも取り組み、子どもたちが主体的に地域に関わったり、地域の良さを発信したりする学習を継続しています。
- こうした取組はこれからのグローバル社会で生きて働く個々の子どものアイデンティティ育成や、子どもたちの心にずっと「ふるさと二島」が存在し続けることにつながることを期待しています。
- 次年度に向け、教職構成が変わっても地域連携が円滑に継続できるための基盤づくりや資料づくりに努めたいと思います。
- 表現力育成としては前日のように「話す」「聞く」の力を育てると共に、今年度は外国語教育に力を入れ、外国語を通したコミュニケーション活動を充実させることに取り組んでいます。また、造形活動の中で「表現する楽しさ」を味わわせることにも取り組んでおり、どちらも本校児童の特色としてつなげていきたい教育活動です。



設問20～26について…めざす学校像

- 児童理解については、引き続きスクールカウンセラーなどの関係機関との連携を図り、子どもたちを多面的に見取ると同時に、特別支援コーディネーターを中心に個々の子どもの実態に応じた適切な支援ができるような仕組みを整えてきました。少人数校の良さを生かし、教育相談週間や生活調査の実施、児童理解の会などを通し、全教職員が個々の児童の課題を共有したり、支援の視点について共通理解したりすることにより、同じ目線で子どもたちを支えることに今後も努めたいと思います。
- 不審者対応訓練や火災対応訓練については、より実際的な場面を想定した訓練に改善しました。そのためのKYTや職員研修にも取り組み、教職員の危機管理意識を高めるとともに、子どもたちが自分で自分の命を守るためのスキル育成にも努めてきました。子どもたちの大切な命を守るために、学校安全については、新型コロナウイルス対応を含め、関係機関との効果的な連携を図りながら、教職員の研修、KYT、実際的な訓練を通し、教職員や児童の危機管理能力を今後もしっかり高めていきたいと思ます。
- 学校運営協議会とPTA活動との連携を充実させること、また、学校運営協議会委員が学校教育により積極的に関われるようなシステムを作ることや、教職員の顔が見える地域連携活動の深化に努めたいと考えます。
- 家庭学習や家庭読書の習慣化、姿勢を含む学習規律などの学校における生活習慣の指導、栄養教諭を中心とした食の指導、養護教諭による健康指導、また、外部講師による保健指導やネットとの付き合い方の指導などの学校での指導が、家庭での生活につながっていくよう、学校における指導の改善を図るとともに、保護者懇談会やPTA総会、学校保健安全委員会などの機会をとらえ、同じベクトルで児童を育てるための方策を考えていきたいと思ます。特に児童のSNS利用については、保護者と共にしっかり考えていく必要があります。
- 今後も情報発信にも力を入れていきます。ホームページを多くの方々が閲覧して下さることはとても幸せです。
- 今年度の二島小学校は、教職員の協働意識が高く、「チーム二島」の雰囲気がいしっかりと醸成されてきています。こうした学校のよい空気が児童をよりよく育てることにつながっていると思ます。
- 教職員一同、保護者・地域の皆様のご意見をしっかりと取り入れ、今後も「信頼される学校」づくりを目指したいと思ます。今後ともよろしくお願いいたします。

多くの貴重なご意見もいただきました。本当にありがとうございます。
とても参考になり、また、励みにもなりました。
教職員間で共有し、これからの学校づくりにしっかりと生かしていきたいと思ます。

年末・年始の行事予定

- 12月24日(木) 終業式・給食終了
- 25日(金) 冬季休業～
- 28日(月) 公務納め(この日まで学校はあいています)
- 1月 1日(金) 元日
- 2日(土) かぞくみんなで健康でー
- 4日(月) 公務始め(この日から学校はあいています)
- 8日(火) 始業式・給食開始

